

【対応方針】情報発信の強化(国内外の情報発信拠点の活用)

平成29年度は、パリ、ロンドン、トロントにおいて日本産酒類に関するシンポジウムや試飲会、映画上映会を海外事務所併設ホール内等で実施するなどして日本産酒類を紹介。

○ 日本の酒文化の魅力 - シンポジウムと試飲会(パリ 2017年6月)

フランス初の日本酒コンクール「KURA MASTER」を運営する蔵マスター協会による、日本の酒文化の魅力に関するシンポジウム。審査委員長グザビエ・チュイザー(ソムリエ)が、フランス人の視点から日本酒の味わい深さと日仏の酒文化の比較を語り、地方の酒蔵についても3名のプレゼンターと共に紹介。コンクールの審査結果発表後、エントリーされたすべての日本酒の試飲会を行なった。

参加者数: シンポジウム106名、試飲会110名

連携・協力機関: 蔵マスター協会(主催)、日本航空(協力)、在仏日本大使館(後援)

○ 日本酒試飲会(パリ 2017年6月)

毎年人気の日本酒セミナー。前半はフランス人サケサムライのシルヴァン・ユエ氏によるセミナー、後半は試飲会。今回は新規の参加者が多かったことから、日本酒に関心を持つ新たな人々が来場。

参加者数: セミナー115名、試飲会125名

連携・協力機関: 有志蔵元(製品を無償で試飲会用に提供)、サロン・デュ・サケ(協力。パリで毎年秋に開催される日本酒紹介の催し。サケサムライのユエ氏が中心となって開催。)、在仏日本大使館(後援)

○ ドキュメンタリー映画『一献の系譜』上映会(パリ 2017年6月)

能登半島の杜氏に関するドキュメンタリーの上映会。能登の四天王と呼ばれた杜氏とその関係者に関するドキュメンタリー。石井かほり監督によるトーク付き。フランス人サケサムライのシルヴァン・ユエ氏が司会・通訳。来場者は最後まで熱心に石井監督の話聞き、質問も多数あった。

参加者数: 60名

○ 日本映画上映会(ロンドン 2017年7月)

日本の食文化をテーマにした映画の上映会を実施。上映5作品のうち、北海道のワイナリーを舞台にした映画『ぶどうのなみだ』を上映。

観客数: 177名

○ 日本酒紹介ムービー(農林水産省制作)を上映(トロント 2017年8月)

ミシサガ市で開催されたJapan Festival Canadaにおいて、短編映画の上映会を実施。上映作品の間に農林水産省制作の日本酒紹介ムービー“What's up with Sake?(SEEKING PERFECTION)”などを上映。Japan Festivalにおいて日本酒を提供するブースも出展していたことから、それらとの相乗効果を狙ったもの。

観客数: 220名



シンポジウムと試飲会(パリ)



日本酒試飲会(パリ)



石井かほり監督(『一献の系譜』上映 パリ)